

投光器 学習版

国労東海貨物協議会
2013年1月10日 No.25
発行責任者 鈴木 和巳

明けましておめでとうございます！本年も宜しくお願い致します。
残念ながら昨年末にも事故が起きてしまいましたが、
今年は無事故で頑張りましょう！

「旗開き」って何だろう？

新年になり、各所で「新春祝賀会」や「新年会」が実施されつつあります。では、組合などが行う「旗開き」って何だろうか考えてみましょう。

まず「新春祝賀会」ですが、端的に言えば新しい年を祝う会で、政界や財界スポーツ界等、多くの立場の方達が集い一年間の抱負や希望などを披露する場となっています。

続いて「新年会」ですが、これは立場に関係なく職場や仲間などが集い新年を祝う会と言えます。酒好きからすれば飲む理由をつけたものとも言えるでしょう。

では、組合等が行う「旗開き」はどうでしょう？

意味を調べると「正月の間に畳んでおいた組合旗を開く」とあり、一般的な新年会と違うのは政党や労働組合等が一年間の闘争を始めるにあたっての懇親会と言うことです。

この学習版では、昨年から経営側と労働側の立場や考えの違いを記載してきました。私たち貨物労働者は目前に迫るダイヤ改正、労働条件改善要求、春闘、期末手当獲得闘争、労働協約改訂闘争など様々な要求を勝ち取るために闘わなければなりません。そのためにも新年を迎えた時期に闘う決意を新たにすることが旗開きの主旨と言えます。



昨年末に青年2名が国労に加入しました。要求実現のためには

「働き・要求し・闘う」という国労の考え方に賛同してくれた結果です。

職場に配属された青年から組合加入までの経緯を聞くと「何だか分からないうちに組合に加入していた。ハンコを押さなければならない雰囲気だった」等の話を聞きます。

『長いものには巻かれる』と言う、ことわざ通りにきたけど職場に来たら「言われたこととの違いに気付いた」等の意見が聞かれます。何も分からない青年を言葉巧みに組合に加入させることはどうでしょうか？少なくとも職場に配属され、職場の先輩の言動などを参考に自らが組合を選ぶということが大切ではないかと国労は考えます。

もちろん職場によっては所属組合の偏りもありますが、それでも何も分からずに加入させられるより自らが選択する道があることが重要ではないでしょうか？



この投光器学習版は国労東海本部のホームページにも掲載されています。

国労東海本部のURLは <http://www.kokurotokai.com> です！